

臨時休業が延長になりました！

11日(月)から楽しみにしていた分散登校でしたが、臨時休業が延長になりました。そのような中ですが、三水小学校には、雨の日も風の日も、雪や夏の暑い日でも、松並木の中で一人黙々と勉強をしている仲間がいます。二宮金次郎さんです。相模国の栢山(今の神奈川県小田原市)の農家に生まれ、10代で両親を亡くし、おじの家で育てられました。本を読むことが好きだった金次郎さんは、夜もあかりをつけて読書していたために、油代がもったいなくとおじにおこられました。しかし、金次郎さんはめげず、自分で菜種をまき、とれた種を油にかえて勉強をつづけました。そして、学費をかせぐために、たきぎをひろって自分でうりあるいたといわれています。はたらき者で勉強好きな金次郎さんはやがて村で一番のお金持ちになりますが、やさしい心を忘れませんでした。「すすんではたらき、つかうべきお金だけつかい、あまつたら人にゆずって、またはたらくことにつかってもらう、こうした行いをすれば人はみなかならずしあわせになれる(報徳)」という考えで、みんなから尊敬されました。やがて、金次郎さんは、尊徳と名前をかえました。金次郎(尊徳)さんのその姿は、のちに多くの学校で銅像や本校のように石像になりました。

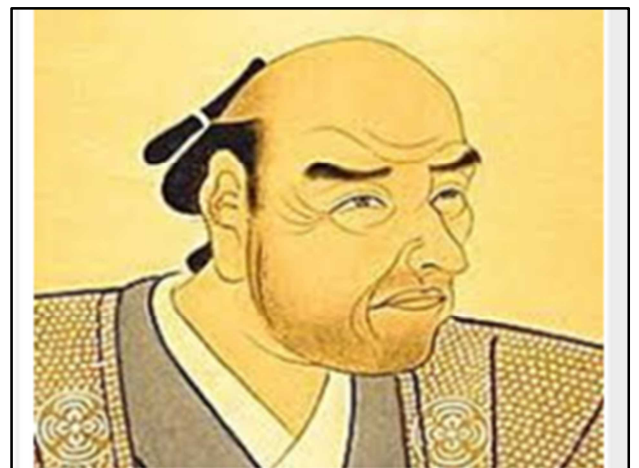
三水第一小学校開校百周年記念誌「松籟(しょうらい)…松に吹く風。またはその音。学校敷地の村木のもとになった松並木。」には、この二宮金次郎の石像は昭和13年度の高等科(現中学生)の卒業記念とあります。昭和13年度という戦前で、豊かな時代ではなかったはずですが、先輩方の「勉強に励むことの大切さや願い」が感じられます。その先輩方は金次郎さんの像を通して、新型コロナウイルス感染症の影響で「自学自習」をひたすら行い続けている子どもたちへ、熱いエールを送ってくださっているのではないのでしょうか。来校した際には、ぜひ、お会いになってください。



【二宮金次郎 像(昭和13年度 高等科卒業記念)】



【本を読みながらまきをうる金次郎さん】



【二宮尊徳さんの肖像画(報徳博物館)】

松並木の剪定作業進行中！

二宮金次郎さんが勉強に励んでいる松並木の剪定作業が、先日から始まっています。高い場所での作業で、見ているだけ足が震えます。子どもたちのために、危険な作業をしてくださっていることに「感謝」です。

また、校庭は、冬の間の凍結で表面が凸凹していました。子どもたちが、思い切り遊んだり、けがなく体育の授業などに取組んだりできるように、川崎先生が整備してくださいました。さあ、学校へ来たら、思い切り大きな声で友だちと会話をしたり、広い校庭で体を動かして遊んだりして、元気に学校生活を再開させましょう。

4月29日の朝日新聞の全面広告に「ドラえもんからのメッセージ～だいじょうぶ、未来は元気だよ～」が掲載されました。

きみがうちに来てくれたから。
ちゃんと手を洗ってくれたから。
家族を想ってくれたから。
ともだちと支え合ってくれたから。
やさしい気持ちでいてくれたから。
病気の人を助けてくれたから。
みんなのために働いてくれたから。
未来をあきらめないでいてくれたから。

だいじょうぶ。未来はげんきだよ。

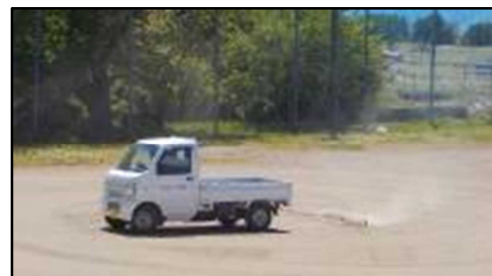
22世紀の未来からきたドラえもんだからこそ伝えられるメッセージですね。ドラえもんを信じて、安心して、毎日を頑張りましょう。

〇お知らせとお願い

5月20日（水）に予定していた交通安全教室は中止します。1～3年生に「じてんしゃルールブック」を配付しました。家庭における交通安全指導にご活用ください。また、全校児童に自転車点検表を配付しました。ご家庭で、子どもさんと一緒に、保護者の目で必ず点検をお願いします。全国では、学校休業中の子どもの交通事故が報告されています。「ブレーキがきいていなかった」「サドルの高さが適切でなかった」といったことがないようにしてください。なお、**自転車損害賠償保険等への加入が義務付けられています**。万が一に備えていただくことも、重ねてお願いいたします。



【松並木の剪定の様子】



【自動車で校庭整備する様子】



【じてんしゃルールブック】